

第2号

市柔連だより

健

心

題字：山田無源 書

平成17年12月31日発行

発行所

高岡市石瀬6-1 塩谷建設㈱内

高岡市柔道連盟

TEL 23-4658

FAX 28-2755

編集発行

広報部



全国練成柔道大会高武館チーム

## 全国大会観戦記

高岡柔道連盟総務担当理事

余川 貴志子

市柔連よりの依頼で、去る七月三十一日、

日本武道館にて開催された平成十七年度全日

本少年武道（柔道）錬成大会を観戦してきま

した。当初、子ども達の試合ということで気

楽に出かけて行きましたが、あの広い会場に

十六面もの試合場が設けられ、大変な人数の

参加者がいることに圧倒されてしまいました。

同じ柔道に携わる者のひとりとして、この競

技の裾野の広さを再認識させられたようでも

ても頼もしく思いました。試合に臨む子ども

達の目は皆とても真剣で、勝負に勝つという

執念と柔道を通じて自らを高めたいという一

途で純粋な思いが観る側にもピンピンと伝わっ

てきました。気軽に応援にいったつもりが、

逆に子ども達から、知らず知らずの内に自分

が忘れ去ってしまった大切なことを教えても

らい、元気をもらってきたような気がします。

子どもは大人を見て育つといいますが、私も

子ども達の見本となるよう努力しなければと

深く反省させられました。

# グローバル柔道スピリッツ



高岡市柔道連盟

副理事長 中村 彰

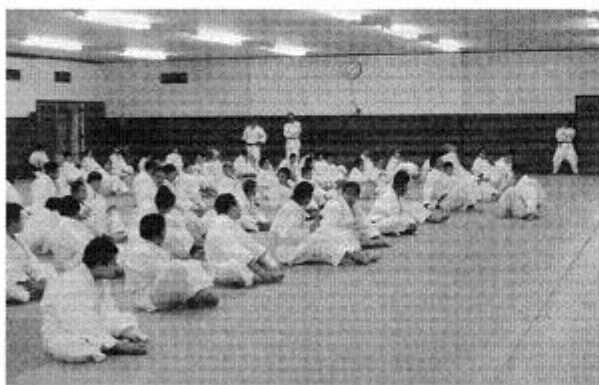
さる十月二十九日(土)高岡市  
中学校スポーツリーダー研修会柔  
道競技(県営高岡武道館)講師の  
任を受け、ここにその研修の様子  
や内容を報告したいと思います。  
(市内中学生一二年生男子百名・  
女子三十名計約百三十名)。

「グローバル柔道スピリッ  
ツ」って何?ということから始ま  
り、日本の柔道から世界の柔道、  
そして、私たちは柔道を通して何  
に向かって行かなければならない  
のかを一緒に考えました。

全国大会・インターハイ等の各  
階級上位選手のビックアップチー  
ムを率いてアメリカ遠征に行けば、  
アメリカの各柔道会場に掲げてあ  
るものが三つあります。それは、  
嘉納治五郎先生の写真と「精力善  
用」「自他共栄」の二つの言葉で

す。この言葉については、我々の  
生活の中から、世界における国交  
にまで通ずる言葉であり、まさに  
グローバルな言葉であります。試  
合を行っても決して日本の高校生  
より強くありません。しかし、嘉  
納先生が唱える柔道を通しての人  
間教育(スピリッツ)をより日本  
人より理解しているのではないか  
と思われまます。ひとつ挨拶をする  
にしても、礼儀正しくしつかりと  
した挨拶を行います。日本の物質  
の文化が豊かになるにつれ、その  
反面、人と人、心と心の間関係  
(ヒューマンスピリッツ)がだん  
だんと希薄になる今日だからこそ、  
今、全日本柔道連盟が「柔道ルネッ  
サンス」を警鐘して、「我々には  
帰るべき場所がある」のではない  
かと訴えています。

世界の各国々で発展している柔  
道は決して良い環境とは言えませ  
ん。発展途上国における柔道、先  
進国における柔道もいろいろと問  
題を抱えております。柔道着ひと  
つ買うにも日本と違い、大変高価  
な物になり、なかには空手着を代  
用したりしています。練習をする場  
所にも苦慮しています。ヨーロッパ  
においても、先進国でありなが  
らも指導者に恵まれず、パワー柔  
道にたよりすぎて行き詰まってい  
る状況もあります。しかし反面、



私たちも見習う練習姿勢もありま  
す。例えば、フランスでは「練習  
は一人でも出来る」です。「みん  
ながそろわなくては練習が出来な  
い」のやらされる練習でなく、自  
ら進んで納得のいく練習をします。  
最初は一人でトレーニング(スポー  
ツジム・道場)、そこへもう一人  
の練習生が来て、打ち込み、乱取  
りと練習が進み、やがて何人もの  
練習仲間が乱取りや技の研究等  
を行い、納得の出来た練習生から帰っ  
ていきます。自分自信が努力をす  
ればその階級でスターになれると  
いう考え方です。

柔道をするためのきっかけは何  
処にでもあります。柔道が続ける  
ための環境はたくさんあります。  
柔道で夢を見つけることは誰にで  
も出来ます。柔道が強くなるチャ  
ンスは誰にでもあります。そして、  
夢を叶えるステージは誰もが持っ  
ているのです。

それだけ、日本にいる私たちは  
柔道することに恵まれているの  
です。

講演の後、技の説明を行い、全  
員で乱取り練習を行い大変有意義  
な研修会でありました。

## 各スポーツ少年団

## 高岡西条柔道スポーツ少年団

随時入部  
受付します

「MADE IN JAPAN柔道」誇りを胸に学ぶ心を育てます。

部長 細呂木 孝 監督 仙納 利信  
 コーチ 四十九和夫 松井 博也 増本 幸俊 余川貴志子  
 増本いづみ 米納 朋 松井 竜也 北山 大輔  
 元全日本柔道連強化指定選手3名  
 元北信越チャンピオン4名

## 団員数

男子	女子	計
0人	2人	2人
3人	1人	4人
1人	1人	2人
2人	1人	3人
4人	5人	9人
5人	0人	5人
6人	6人	12人
3人	3人	6人
4人	4人	8人
1人	19人	20人
2人	37人	39人
3人		
4人		
5人		
6人		
計		



稽古日	場所	時間
日曜日	塩谷建設㈱正気館道場	AM8:00~9:30
月曜日	県営高岡武道館(合同練習)	PM7:00~8:30
火曜日	塩谷建設㈱正気館道場	PM7:00~8:30
水曜日	県営高岡武道館(合同練習)	PM7:00~8:30
金曜日	塩谷建設㈱正気館道場	PM7:00~8:30

全部員初心者ながら団体戦、個人戦常に上位入賞です。富山県チャンピオン、県柔連、北信越柔連強化指定選手も所属しています。正気館道場を核に、定着した地域スポーツ活動になりたいと思います。

## あわら柔道スポーツ少年団

あわら柔道スポーツ少年団は、小学生一年生から六年生まで三十一名の団員と岩城裕之、宮越 務、野宇正樹、後迫俊一の四名の指導者で行っております。

あわら柔道スポーツ少年団は、あわ町、高岡警察署道場で誕生しました。その後、県営高岡武道館が完成し、高岡警察署道場から、県営高岡

武道館に移り

ました。

練習内容は、

月曜日、水曜

日、土曜日の

週三回。月曜

日、水曜日は、

高岡市柔道連

盟の健全会強

化練習があり、

あわら柔道ス

ポーツ少年団



## 中田柔道スポーツ少年団

昭和六十三年、錬心館篠原道場を引き継ぎ中田柔道スポーツ少年団を設立しました。内河、土倉、荻布が中心となり指導しています。団員は年中児から六年生まで男女併せて、二十九名がいます。

数多くの卒業生の中から、全中・インターハイ等、全国大会でも活躍した選手を輩出しました。

団の信条は

「継続は力なり」

で、小学生だ

けで終るので

はなく中学生

から社会人になるまで生涯柔道を通

けることが目的です。

中田中学校の格技館で水曜日、日

曜日の二回練習をしています。



## 正心館早苗道場

正心館早苗道場では、小学一年生から六年生男女十二名、中学生六名で毎週月・水・金の夜七時から八時三十分まで楽しみを交えながらこつこつと練習に励んでいます。



色々な試合に出場してもなかなか勝てませんが、あきらめずいつも笑顔で中学生の先輩を目標に頑張っています。

## 心技塾

心技塾は昭和五十三年に私塾として創設、現在に至っています。現在の塾生は小学生・中学生合わせて四十一名です。

練習にあたっては、基本にそった柔道を体得する。誰に対しても元気に挨拶をする。どんな時でも常に節度ある態度を堅持する。みんなが仲良く、元気な柔道をする。これら四

つを指導指針としており、技の習得だけでなく、心の育成や礼儀作法を重視しています。



## 櫻心塾

櫻心塾は、できて三年目の柔道塾です。現在二十一名が練習に通っています。道場訓は、明るく元気に礼儀正しくですが、思い通りには簡単にはいきません。「知人に会ったら挨拶しなさい」といっていいませんが、なかなかできません。練習が少し激しくなると声も出せないくらい元気が出なくな



ります。でも練習が終る途端に元気になり憎まれ口を言い大声で笑っています。「しかたないの」とも思いますが、練習同様に構えもコツコツ教えていかないと強くやさしい心は育たないと思います。

## 戸出柔道スポーツ少年団

「親に感謝/友達に感謝/先生に感謝/」感謝の気持ちをお忘れしないで、柔道と向き合っている団員総勢三十七人のうち、女子が十六人。

毎週火・水・金・日の四回行う時間も曜日によって違いますが子供達は楽しく柔道をしています。十七年五月二十一日の日整柔道富山県大会において県大会団体初優勝、十七年九月二十三日高岡市秋季大会低学年の部二連覇を成し遂げた時は、私も飛び上がりたくらい嬉しい思いをし、子供達に感謝です。



また父兄会も充実していて会長を筆頭に、冬の練習試合での豚汁作り、夏季戸出合宿、高岡市の合同合宿、数々の練習試合、全国練成大会、秋のレクリエーション、クリスマス会等でお世話に大変感謝しております。

コーチ陣は私を含め七人(女の先生一人)と指導者(富山県スポーツ少年団認定員)にも恵まれ、私は好きな柔道を楽しく教えることができずすべての事でコーチの皆さんに感謝しております。

「感謝」を忘れず、柔道を通して挨拶ができ、やさしく、たくましく人間味のある、カッコいい人に育って欲しいと私は願っています。

小谷道場から綱谷道場になってから早いもので、五年がたちました。

## 伏木少年柔道会

「精力善用 自他共栄」綱谷師範のもと現在四歳から小学校六年生まで十六名の児童が週一回練習をしてい

ます。礼にはじまり礼に終りというようには、なかなか上手いきませんが、とにかく休むことの無いように、また辞めることの無いように指導しています。綱谷定和師範、廣上久夫先生、西浦毅先生、柴田成人、廣上智久、綱谷真実が中心となり常時指導に当たっています。



## 告知板

一月四日 けいこ初め  
九日 正気館大会  
三月十九日 総会予定  
四月一日 合併・福岡柔道協会  
(合併をつけて臨時総会開催が必要)

## 編集後記

今回、スポーツ少年団の特集をいたしましたところ監督の皆さんには大変お忙しいところご協力をいただき誠にありがとうございます。高岡市柔道連盟からいろんな発信をしたいと思っておりますので、会員の皆さんのアイデアをお待ちしております。

広報部長 柴田成人